



想いを受け取り、想いをつなぐ 「世代」と「環境」を未来につなぐ活動に取り組んでいます

三菱UFJ 信託銀行の CSR

三菱UFJ信託銀行は、信託銀行の機能を活かしてお客さまの大切な「想い」や「資産」を安心して次世代につなぐ、持続可能な社会の実現に貢献することで、企業の社会的責任（CSR）を果たしていきたいと考えています。具体的には「地球環境問題」と「少子高齢化問題」をCSRの重点テーマに掲げ、お客さまの想いや社会のニーズに応える商品・サービスの提供や、従業員参加型の社会貢献活動などに取り組んでいます。

お客さまへの取り組み

当社では、お客さまからの評価向上・支持拡大に向けた全役職員の心構えとして「CS取組方針」を定めています。

CS取組方針

『お客さまからの評価向上のために何をすべきか』を、常に全役職員が考え、実践する

お客さまに直接かかわる営業担当だけでなく、企画・事務・システムなど、すべてのプロセスにかかわる役職員が、お客さまから評価いただくためには何が必要なのかを考え、不断の改善活動に取り組んでいます。また、この方針に基づき、各事業部門において、具体的に取るべきことを定め、全社一丸となってCS向上に努めています。

～どなたにでも安心してご利用いただける店舗を目指して～

ご高齢のお客さまや障がいをお持ちのお客さまなど、
すべての方に安心してご利用いただけるよう、さまざまな取り組みを実施しています。

安心・快適な店舗づくり

- スロープの設置による段差解消、車いす対応の駐車場の整備など、店舗や施設の改善を順次進めています。
- 各店舗のバリアフリー情報をホームページに掲載しています。

サービス・応対力の向上

- 車いす・老眼鏡・助聴器・ルーペ・筆談器・記帳ボード・コミュニケーションボード※（全国銀行協会制定）を全店舗に配備しています。

※ ボードを指し示すことで代表的な取引や手続きの意思表示ができます。

- 視覚障がいをお持ちのお客さまや、車いすをご利用のためATM利用が困難なお客さまが、窓口で振込みされる際の振込手数料を、ATMご利用時と同額の振込手数料に引き下げています。
- 認知症のお客さまや、障がいをお持ちのお客さまとそのご家族に安心してご来店いただけるよう、すべての本支店従業員を対象に「認知症サポーター養成講座」および「サービス助助セミナー」を実施し、応対力の向上に取り組んでいます。



商品・サービスを通じた取り組み

少子高齢化社会に応える商品の提供 解約制限付信託「みらいのまもり」

将来、認知症に伴い判断能力が低下した場合に備え、有料老人ホーム等施設の入居一時金や、高額な医療費用として確保している大切なご資金を守る信託商品「解約制限付信託（みらいのまもり）」の取扱いを2016年6月より開始しました。2016年度には、「みらいのまもり」取扱い開始に加え、認知症サポーター養成講座、サービス助助セミナーの開催など少子高齢化

への取り組みが、「環境省21世紀金融行動原則第5回グッドプラクティス」に選定されました。



環境に関する取り組み 再生可能エネルギーの推進と普及

年金基金等の投資家向け「再生可能エネルギーファンド」組成を目標とした「R&D目的投資」として、既存の宮城県・大阪府・大分県に続き、新たに茨城県の太陽光発電案件への匿名組合出資を追加実施しました。これら4件の投資（約42億円）により、年間を通じて一般家庭約2,800世帯分に相当する電力を供給するとともに、年間約7,400トンのCO₂排出量削減が期待できます。今後も、国の成長戦略上の目標でもある再生可能

エネルギーの最大導入・民間資金を活用した中長期の成長資金の供給促進に貢献していきます。

出資した太陽光発電事業の一部



所在地:宮城県国富町



所在地:茨城県那珂郡

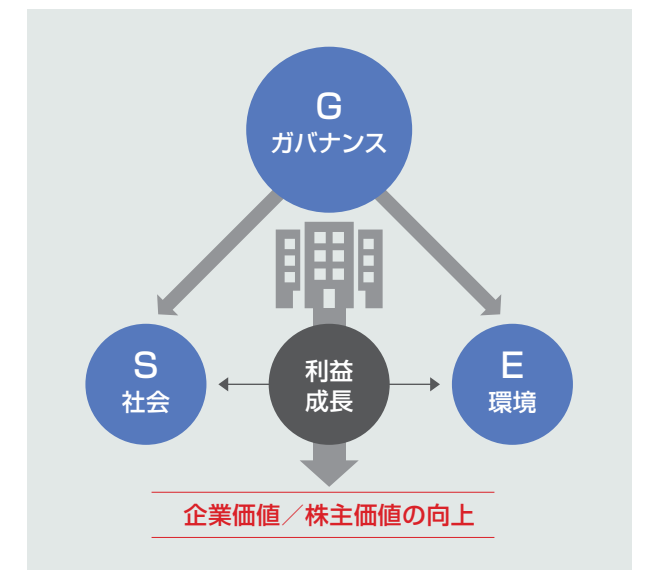
持続可能な社会の実現に向けて ESG※1投資への取り組み

当社では持続的な利益成長が期待できる銘柄を厳選したファンド設定・運用に力を入れています。また、官公庁と協働したセミナーや個別企業とのエンゲージメント※2などを通じて、ESGの要素を踏まえた投資先候補選定の事例を紹介するなど、企業の非財務情報をベースとした評価の拡大を呼びかける活動を推進しています。

三菱UFJ国際投信では、環境への取り組みが優れた企業の中から投資価値の高い銘柄を選定したファンドを取り扱っています。これらのファンドの中には、信託報酬の一部が自然保護の基金へ寄付されるものもあります。

※1 「Environment（環境）」、「Social（社会）」、「Governance（企業統治）」の頭文字をとったもの

※2 中長期的視点から持続的成長を促すことを目的とした投資先との対話



ダイバーシティへの取り組み

当社では多様な人材の活用(ダイバーシティ)に注力しており、特にワークライフバランス、女性活躍推進、障がい者雇用に取り組んでいます。女性活躍推進については、企業内保育施設の導入等、仕事と育児等の両立支援制度の拡充や、女性社員のキャリア形成支援を目的とする「キャリアアップセミナー」のほか、管理職候補育成を目的とする「キャリア・プランニング研修」、管理職向けの女性部下育成研修等を実施しました。障がい者雇用は、特例子会社の菱信データと協働し、主に聴覚等に障がいをお持ちの方の雇用創出に取り組んでいます。菱信データは、2016年度「東京都教育委員会事業貢献企業等に対する表彰」を受賞しました。



キャリアアップセミナー

地域社会への取り組み

「ピーターラビット™未来へつなぐ森」での活動

2009年5月、長瀬町および埼玉県と「埼玉県森林づくり協定」を締結し、長瀬町宝登山地内にある共有林(約1ha)で森林保全活動を継続しています。「ピーターラビット™未来へつなぐ森」と名づけた森で、植樹や下草刈りなどの活動に、役職員やその家族が参加。2017年7月には、61名が参加し、木々の成長を助ける下草刈りを行いました。



下草刈り活動

金融経済教育(投資教育)

お客さまやお取引先の従業員、大学生を対象に、「ライフプランセミナー」「資産運用セミナー」や信託博物館を活用した「丸の内セミナー」など、資産形成の重要性についての気づきや投資をはじめのきっかけを提供するさまざまなセミナーを開催しています。

「かけはし信託愛の基金」による寄付

三菱UFJ信託銀行とグループ会社の役職員・退職者およびその家族から会費(寄付)を募り、老人福祉、保健医療、災害援護等を行う社会福祉団体等への支援を行っています。2016年度は、17団体に総額850万円の寄付を実施し、1977年の基金設立以来、累計887件、総額4億1,050万円の寄付を行いました。



寄付金贈呈式



講義の様子

「サービス介助セミナー」をリテール全店で開催

ご高齢の方や障がいをお持ちの方に安心してご来店いただけるよう、「サービス介助セミナー」を行っています。白内障ゴーグルによる高齢者疑似体験や、車いす体験などを通して、応対力の向上に努めています。また、2016年9月に東京都と「都と事業者との連携による高齢者等を支える地域づくり協定」を締結し、「高齢者の見守り」などに取り組んでいます。



講義の様子

認知症サポーターの養成

認知症サポーターの育成を目的に「認知症サポーター養成講座」を実施しています。特にリテール業務に携わる従業員の受講を必須とし、認知症の症状や対応方法などについて理解を

深めています。認知症患者の増加が見込まれるなか、地域社会への貢献につながるよう取り組んでいます。

各拠点での従業員参加型社会貢献活動

全国の拠点が独自に行う社会貢献活動の推進にも力を入れ、活動資金を援助する制度を導入しています。

拠点による主な活動事例

拠点	活動
仙台支店	女川駅前広場と女川復興ガーデンの花の植替えおよび清掃活動を実施
名古屋エリア4拠点	愛知県下の児童養護施設の児童を招き「第11回MUTBフレンドサークル」として「セントレアまるわかりツアー」を実施
札幌支店	未使用そろばん37丁を兵庫県小野市へ寄贈し、海外のそろばん普及振興に寄与
受託監理部	ファミリーハウス宿泊施設における居住スペースの清掃活動を実施
大阪エリア7部店、奈良支店	奈良公園清掃活動(クリーンアップならキャンペーン)に参加
横浜駅西口支店、上大岡支店	横浜自然観察の森にて自然保護活動体験に参加
香港支店	MUFGグループのCSR活動「MUFG Gives Back」の一環として、三菱東京UFJ銀行とともに、大埔海濱公園で植樹活動を実施
成城支店	二日間にわたり成城の桜並木周辺の落ち葉清掃活動に参加
ロンドン支店	Christmas Jumper Dayに各々クリスマス柄のセーターを着用して募金活動を実施
複数部店	支店周辺の清掃活動実施(静岡支店、浜松支店、大阪拠点、日本橋支店、神戸支店など)



受託監理部



横浜駅西口支店・上大岡支店



成城支店

財団を通じた社会貢献活動

三菱UFJ信託奨学財団



1953年に設立され、人材養成や学術研究の発達を目的に、前途有望な若者を対象に奨学事業を行っています。2016年度は、371名の学生に総額1億9,400万円の奨学金を給付しました。

三菱UFJ信託芸術文化財団



1987年に設立され、音楽芸術の発展・振興を目的に、日本のオペラやオーケストラ等の団体の主催公演のうち、一定の芸術的水準を有する公演に助成しています。2016年度は、52公演に総額2,940万円の助成を行いました。

三菱UFJ信託地域文化財団



1989年に設立され、音楽・美術・演劇・伝統芸能の分野で継続的に活動するアマチュアの音楽および演劇団体の公演、伝統芸能の継承と保存等、地域文化の振興に努力されている団体へ助成を行っています。2016年度は52件に総額1,970万円の助成を行いました。

CSRの取り組みについては当社ウェブサイトでもご覧いただけます。
▶<http://www.tr.mufig.jp/ippan/csr/>